

☆定 格 (スイッチ) ☆

- スイッチ 単極単投
- 定格電圧 100V
- 定格電流 3A

室内アンテナ

AI-14W

テレビ受像の急速な普及と、各地区における新放送局開局にともなう強電界地域需要家の激増にこたえて設計された室内アンテナである。



☆特 徴 ☆

- 1) 広帯域に設計されているからどのチャンネルを受像するときでもアンテナを調節する必要がない。
- 2) 従来の室内アンテナと同様にテレビ受像機やテーブルの上に置いて受像できるのは勿論であり、更に必要な場合にはアンテナに付属している取付金具で簡単に天井や壁などに取付けることができる。
- 3) アンテナ素子部分は基部を固定したまま約 180° 自由に回転させることが可能であるから、最もよい受像方向に容易にむけることができる。

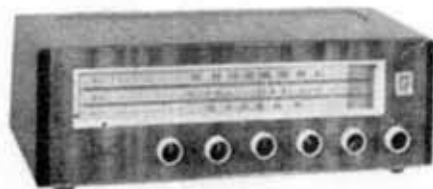
☆定 格 ☆

- 受像可能範囲 強電界地域
- 受像周波数 テレビ放送周波数を帯域
- インピーダンス 300 オーム
- 寸 法 高さ約 46cm  
出 約 13cm
- 重 量 約 260g

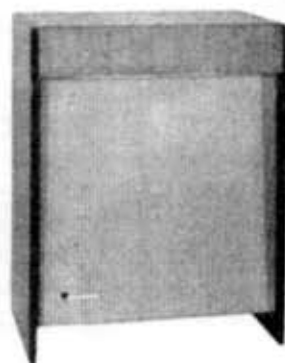
AM-FM Hi-Fi チューナーアンプ

HC-50

現在東京、大阪に於いて実験を行なっているFM放送は本年中に本放送となり、また多くのFM民間局も申請



中で近い将来に於いてFM全盛時代が到来しようとしているが、このFM放送の特徴となる音質に対して十分その真価を発揮すべく、設計されたものがこのHC-50で次の特徴を有している。



☆特 徴 ☆

- 1) 超短波 FM 放送が聴ける：普通の国内放送、短放送に加え超短波 FM 放送も聴ける。これは雑音が非常に少なく、脱信のおそれは全然ない。
- 2) 新しい FM 用真空管の使用：日本で初めて完成した欧米各国で好評の優秀な性能をもつ AM-FM 用真空管 6AQ8, 6AJ8 を使っているので非常に高感度で安定した性能を発揮する。
- 3) プッシュプル回路の採用：新しい出力管 6BM8 を 2 本使ったプッシュプル回路で、しかも多量の負帰還をかけているから歪の少ないすばらしい音質が得られる。
- 4) 高音、低音 2 つの音質コントロール：高音、低音が意のままに調整出来、どんな番組にもふさわしい音質が得られる。
- 5) 2 way 方式の採用：ウーファーとして 8 吋、ツイーターとして 2.5 吋の専用スピーカを使用しているために低音から高音迄極めてフラットな特性を得ている。
- 6) AFC、リミッタ回路付：APC (自動周波数調整) 回路を採用しているために FM での周波数ブレの恐れはない。またリミッタ回路付だから雑音も歪も少ない。
- 7) ハイファイ用中間周波トランス：AM の場合帯域巾を広、狭 2 段に切換られるため、忠実度 (音質本位) と選択度 (分離本位) とそれぞれ使いわけ出来る。
- 8) 便利な付属端子：テープレコーダなどを使って好きな番組の録音、再生が出来る。  
電源回路のないリアリスを使ってレコードを聴くための電源ソケットを設けている。  
8Ω, 16Ω の外部スピーカ端子を付けているのでどんなスピーカボックスにも併用出来る。
- 9) このセットはアンサンブル形式になっており、上部のチューナー部分 (AS-919) と下部のスピーカボックス部分 (SPS-89) に分けられるため好みによって設置が自由である。

☆定 格 ☆

- 受信周波数帯 MW 535-1605kc, SW 3.9-12Mc  
FM 80-90Mc
- 中間周波数 AM 455kc  
FM 10.7Mc
- 使用真空管  
6AQ8 FM 高周波増巾兼周波数変換管  
6AJ8 AM 局部発振兼混合管, AVC, FM 中間周波増巾管  
6DC8 AM 中間周波増巾管兼検波, AVC, FM 中間周波増巾兼リミッタ管  
6BX6 FM リミッタ管兼 AVC  
6AL5 フォトキネシー、FM 検波管

- 6AQ8—AM 低周波増幅管, FM リアケタンス管兼低周波増幅管  
 6BM8×2—低周波増幅管兼フォスターレーン検波管  
 6DA5—同調指示管  
 6CA4—整流管
- ダイケルライト 6.3V 0.25A 3個
  - 感 度 MW 50 $\mu$ V/500mW, SW 50 $\mu$ V/500mW  
 FM 50 $\mu$ V/500mW (S/N=30db)
  - 電 気 的 出 力 無歪 7W, 最大 10W
  - 電 源 50~60% 90-100-110V (ヒューズ差替式)
  - 消 費 電 力 90VA

### ナショナル高級 FM チューナ AS-907

FM 放送の放送時間の延長と内容の充実にあたり、先に販売した ES-901 について高級 FM チューナ AS-907 を今度製造した



#### ☆特 徴☆

- 1) 高周波増幅、周波数変換回路は欧州系真空管と回路を使用しているため、増幅度、S/N 比共に大きい。
- 2) 中間周波 2 段、リミッタ 1 段でフォスターレーン検波を行っているため感度が大きい。
- 3) フォスターレーン検波回路の採用で歪が少ないが特に入力レベルの変化で歪が増加するという事がない。
- 4) 完全なリミッタ動作により雑音抑圧比、AM 抑圧比が大きく且つ反射電波の妨害による音質劣化が少ない。
- 5) AFC (自動周波数調節) のため受信が安定で受信音質が悪くなるという事がない。
- 6) AVC (自動音量調節) のため過大電界強度においても混変調に強く、受信機は安定に動作する。
- 7) コードレスの低周波増幅管がついているため、低出力インピーダンスでアンテナに接続するリード線の長さや、アンテナの入力インピーダンスの大小で音質が変化するという事がない。
- 8) AFC ON-OFF の切換スイッチで AFC-OFF の時ワリツプアにより正確に同調出来る。

#### ☆定 格☆

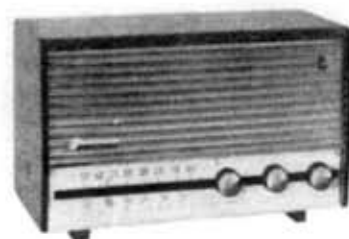
- 受信周波数帯 80~90Mc
- 中間周波数 10.7Mc
- 使用真空管 9AQ8—高周波増幅兼周波数変換管  
 9A8—中間周波増幅兼 AFC リアケ  
 ンス管  
 6BA6—振巾制限器

- 9A8—振巾制限兼コードレス低周波増幅管
- 6AL5—フォスターレーン検波管
- 6X4—整流管
- 6ZE1—同調指示管
- 感 度 30 $\mu$ V/0.3V
- 電 源 50~60%, 100V-110V (ヒューズ差替式)
- 消 費 電 力 40VA
- 型 状 326×146×168mm
- 重 量 3.2kg

### 2 バンド トランジスタ パーソナル

#### AT-320

最近のトランジスタの進歩は目ざましく、ポータブルセットには勿論、パーソナル、ホームラジオへも進出して来たが、本機も次の特徴を有した 2 バンドパーソナルセットである。日本短波放送はもとより世界各国の短波放送が明瞭にキャッチ出来る。なおアンテナコイルには短波用ダストコアアンテナを使用しているから、ある程度強い電波では外部アンテナなしで使用出来る。



#### ☆特 徴☆

- 1) 5 吋スピーカー使用であるため、すばらしい音質音量。
- 2) ショットキーダイオード使用により、温度特性減電圧特性がよい。
- 3) コードレスのためどこへでも手軽に移動出来る。
- 4) 電池の寿命は 4 ヶ月以上。

#### ☆定 格☆

- 受信周波数帯 MW 535~1695kc  
 SW 3.9~12Mc
- 中間周波数 455kc
- トランジスタ及びダイオード  
 OC-44—周波数混合  
 OC-44—局部発振  
 OC-45—第 1 中間周波増幅  
 OC-45—第 2 中間周波増幅  
 OC-70—検波兼 AGC  
 OC-71—低周波増幅  
 20C-76—出力  
 MA-23B—自動動作補償
- 感 度 MW 20 $\mu$ V/100mW  
 輻射感度 150 $\mu$ V/M/10mW  
 SW 50 $\mu$ V/10mW

- 出力 無音 300mW 最大 450mW
- 電池 UM-1×6個 9V
- スピーカ 5吋パーマントダイナミックスピーカ
- 型式 320×199×150mm
- 重量 2.2kg

8石2バンド卓上型トランジスタラジオ  
AT-250

本機は8石2バンドで5吋のスピーカを採用し、高感度良音質で、パーソナルラジオとしても十分な性能を持ち、また移動にも便利な新しいタイプの、多用途トランジスタラジオである。

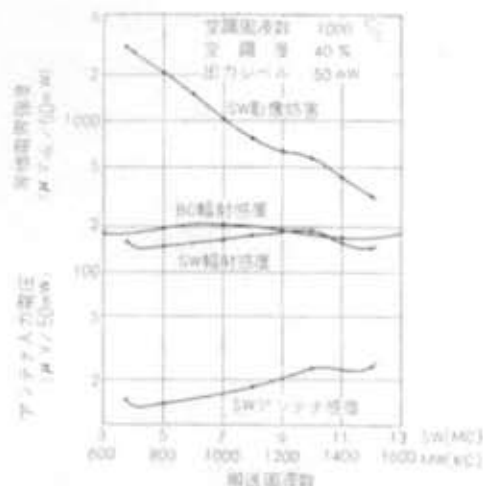


☆特 徴☆

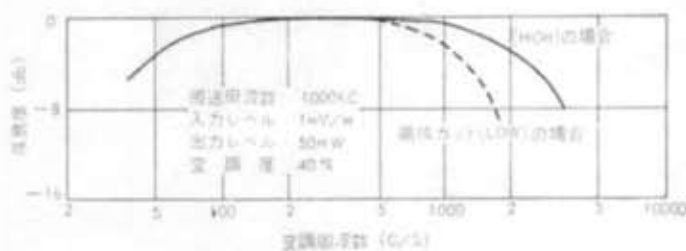
- 1) 5吋スピーカ、NF回路を採用し音質が良好である。
- 2) 短波用ダストコアアンテナとロッドアンテナを併用しているため、電波の強い所では、ロッドアンテナをのびさずに短波受信が出来る。またロッドアンテナは把手の中に収容する新しい機構を開発している。
- 3) セパレート式の周波数変換を行なっているため、短波帯でも高感度を得ている。これは減速比の大きい回転ダイヤル機構とともに、短波の受信を容易にしている。またミキサトランジスタに AGC をかけているので AGC 特性が優れている。
- 4) 前面型デザインでキャビネットのどちらの面からも同様に、同調及び音量調節の操作が出来る。
- 5) トーンスイッチを付け、高域をカット出来るようにして、雑音の多い状態や、遠距離受信に備えている。
- 6) 電池カバーがキャビネットを分解せずとも、ネジ一本で取外せるようになっており、電池の交換が容易である。
- 7) その他レーンコンダイオードを用いた安全回路、音質のよいクリスタルマイケルソン回路、外部アンテナ接続端子などを備えている。

☆定 格☆

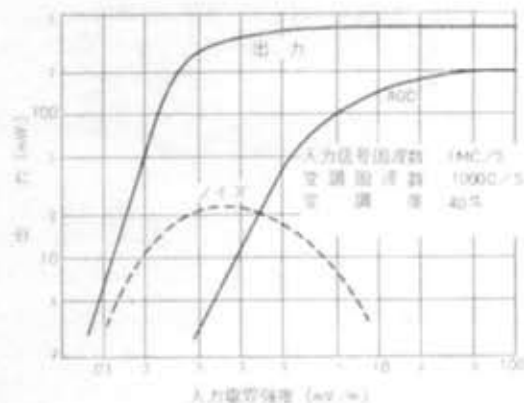
- 受信帯域 BC 540~1600kc  
SW 3.9~12Mc
- 中間増設数 455kc
- 使用トランジスタ及びダイオード  
MC101 割合  
MC101 局部発振  
OK-43 第1中間増設増市  
OK-45 第2中間増設増市  
OK-71 第1低増設増市



感 度 特 性



組 合 忠 実 度 特 性



出 力 特 性

- 感 変 BC 250 $\mu$ V/m/500mW (輻射)  
SW 250 $\mu$ V/m/50mW  
(輻射、ダストコアアンテナのみ)  
20 $\mu$ V/50mW  
(アンテナ端子より)
- 出 力 無音 250mW 最大 400mW
- 電 源 UM-1×6個 9V
- 外 型 寸 法 256×165×82mm
- 重 量 2.3kg (電池共)
- 使用スピーカ 5吋パーマントダイナミックスピーカ

ナショナル 2バンド 9石トランジスタ  
ポータブルラジオ AT-210

本機は感度  
音質音量大き  
さの四要素を  
巧みに纏した  
2バンドトラ  
ンジスタポータ  
ブルとして設  
計されたもの  
である。

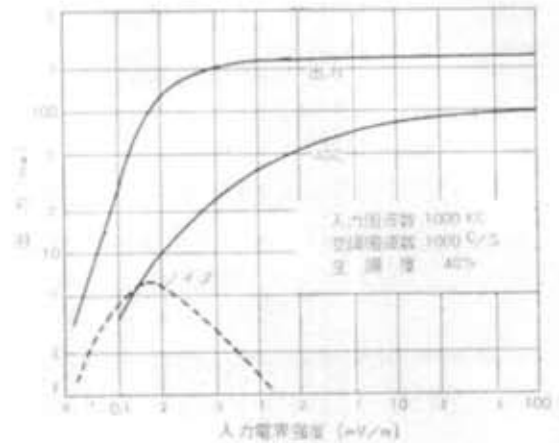


☆特 徴☆

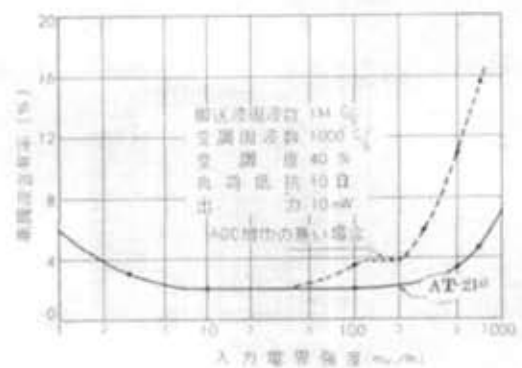
- 1) アンテナは MW, SW 両用の高性能フェライトコアアンテナを用い、MW は勿論 SW に於いても電界強度が 500 $\mu$ V/m 以上であればロッドアンテナなしで充分実用になる受信が可能である。
- 2) AGC 効果をよくするため特に AGC Amp 用トランジスタを使用しているので、電波の強弱にかかわらず歪特性は極めて少ない。
- 3) 高周波用トランジスタとしてドリフトトランジスタ MC101 を使用しており、他励式周波数変換回路とともに良好な高周波特性を得ている。
- 4) 電池の経済性を考慮して単二4本で 6V とし、400 時間の使用に耐える。
- 5) 以上の地温度補償、減電圧補償、自動安全 SW の3効果をもつ動作補償 (AOC) 用バリキャドの使用、音質切換回路の採用、音質のよいクリスタルエイヤホーンの使用出来る回路の採用、ホームスピーカの接続端子などの特徴を有する。

☆定 格☆

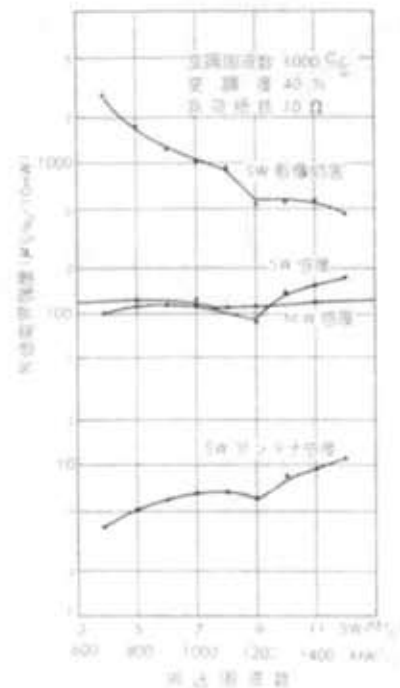
- 受信周波数帯 MW 540~1,600kc/s  
SW 3.9~12Mc/s
- 中間周波数 455kc/s
- 使用トランジスタ MC101 混合  
MC101 局部発振  
OC-45 第1中間周波増市  
OC-45 第2 " "  
OC-71 AGC 増市  
OC-71 低周波プリアンプ  
OC-71 低周波ドライブ  
2-OC-72 出力  
ダイオード MA-23B 自動安全動作補償  
OA-70 検波及 AGC
- 感 度 MW 平均 150 $\mu$ V/m/100mW  
SW 平均 150 $\mu$ V/m/10mW



感度特性



入力電界対歪特性



出力特性

- 電 気 出 力 無歪 (歪率15%) 150mW  
最 大 200mW
- 電 池 UM-2 $\times$ 4 6V
- 使用スピーカ 3.5" PM ダイナミックスピーカ
- 寸 法 215 $\times$ 122.5 $\times$ 48.5 (mm)
- 重 量 1150g (電池付)